

▶▶▶ 「地域の6次産業化」社会実装モデル

「地域の連携をみえる形に」 紀美野町民泊協議会における研修システムの構築

▶ プロジェクトメンバー

○植田 淳子（食農総合研究教育センター）
藤田 武弘（観光学部）

▶ 共創相手

和歌山県紀美野町役場まちづくり課 産業課
紀美野町観光協会
紀美野町民泊協議会

○はプロジェクト代表

プロジェクトの背景

近年、農山村が地域再生に取り組む上で、人材を育て、地域や農業を維持・発展させ、農業経営への参画と地域農業に関する方針策定への参画の推進の重要性が目ざされている。特に女性農業者において顕著にみられ、2020年に新たに提唱された「女性農業者が輝く農業創造のための提言 ～見つけて、位置づけて、つながる～（2020年12月）概要¹¹⁾」の4つの対策の一つの柱にも、「女性農業者の学び合い・女性グループ活動の活性化」の必要性が提げられている。その背景として、地域の農家や住民が、農業生産だけではなく、地域との関わり、横断的なネットワークづくりや情報発信、研修等への参加等により、地域や農業について学んでいくこと、さらに旅行者やインバウンド、教育旅行の子どもたちの受け入れ等を通して、地域の様々な技術や文化を学び、次の世代に伝えていくことの重要性も認識されていることが考えられる。

2019年までは、農村における旅行者等の受け入れ数も年々増加し、受入地域や農家での実績や経験も蓄積されていた。しかし、2020年初頭から見舞われた新型コロナウイルス感染症（以下、コロナと略）のため、これまでのような農山村での集いの場、また旅行者等の地域外からの人の出入りや受け入れ、国内外との交流や民泊事業を実施することは非常に困難となった。現在ワクチン接種も開始され、コロナ禍後の新しい働き

方や生活スタイル等が模索されている。コロナ禍収束後、再び民泊家庭が受け入れを開始する際に、これまでとは異なる研修等の備えが必要になると想定される。

プロジェクトの目的

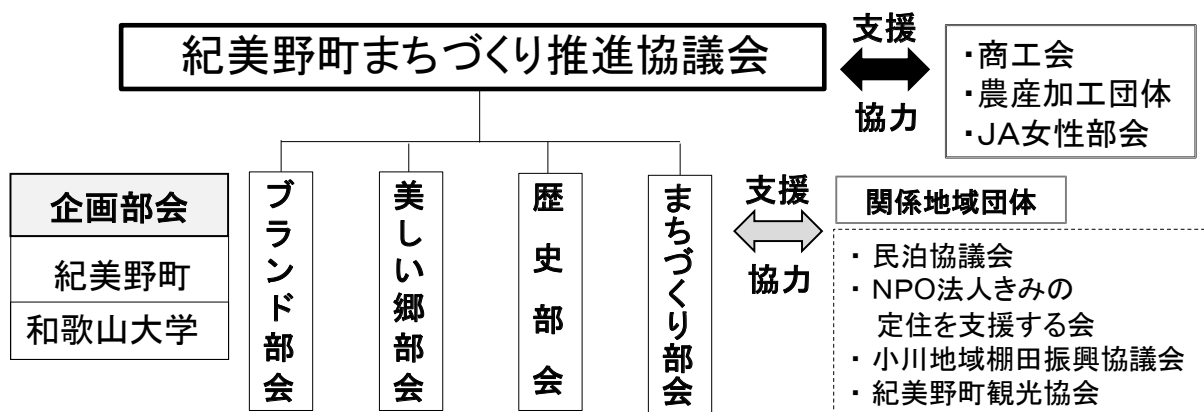
このような経緯を踏まえ、当センターでは、和歌山県紀美野町民泊協議会（以下、民泊協議会）に所属する受け入れ家庭（世帯員）を対象に、コロナ禍後の宿泊客の受け入れに関する意向、また受け入れを行う際の研修希望の有無、さらに研修を希望する場合、その内容の要望等に関して明らかにするためにアンケート及びヒアリング調査を実施した。

なお、図1に示すように民泊協議会は、「紀美野町まちづくり推進協議会」の中の「まちづくり部会」に関わる関係地域団体であり、現在24軒が加盟している。その内20軒が実働家庭であり、今回の調査には19軒（34名）の協力を得た。

プロジェクトの活動内容

(1) 民泊家庭の概要

調査の協力を得た19軒（34名）のうち、男性17名、女性17名であった。民泊家庭の平均年齢は64.9歳であり、受け入れ家庭の形態は基本的に夫婦での受け入れが大半を占めている。中には一人での受け入れ、ま



【図1】 紀美野町まちづくり推進協議会組織図

資料：聞き取り調査を基に植田作成

注1：企画部会にはメンバーとして紀美野町職員、和歌山大学研究者等が含まれる。

た移住者としてその地域に住み、普段は一人で生活をしているが、民泊受け入れ時のみ、他地域より家族が来て一緒に受け入れを行うケース、また近所の知人が手伝うケースもみられた。現在の民泊家庭の職業は、年金生活者が12名（35.2%）で全体のうち最も多いが、続いて農林水産業、自営業・個人事業、パートアルバイト・嘱託・派遣等が各5名（14.7%）を占めていた。なお比較的小規模農家が多く、栽培作物は柿、野菜、梅等である。

民泊開始時期に関しては、一番早い家庭で2010年からの受け入れであり、民泊を始めたきっかけとしては、女性も男性も、「まちづくりや地域の活性化につながると思ったから」との回答が7名と最も多くあげられた。女性の場合、「その他の理由」として7名が回答していたが、その内容としては、「趣味を生かして皆が集える場所を提供しなかった」、「将来において収入の一つの柱としたかった」、「移住と同時に民泊に適した住宅が見つかった」等の回答がみられた。なお、生活収入としての期待は男女ともにあまり高くはなかった。体験等の別途設定しているメニューに関しては、野菜の収穫体験、ドラム缶風呂、ピザ作り、陶芸、竹細工、木工体験、BBQセット等、各家庭で対応可能なバラエティーに富んだ内容が組まれていた。

(2) 民泊家庭が希望する研修プログラム

続いて、民泊の受け入れを行う際の研修等の希望について調査を行ったところ、全体で28名（82.3%）の受け入れ家庭の世帯員が研修を希望していた。

なお、研修を希望しない理由としては「高齢のため」、「自分の好きなように時間を使いたい」、「受け入れは、子どもたちが主なので、決められたメニューの必要を感じない」、「お客さんと一緒になって遊びたいので」等の回答があげられた。

民泊受け入れ家庭が希望する研修を、男女別に集計した結果が図2である。

男女とも比較的高い割合で希望する研修プログラムは、「保健所の食中毒対策講座やコロナ対策」の研修である。コロナ禍の現在や今後しばらくの受け入れにおいても、ウイルス対策や除菌等の衛生面の管理は必要となるであろう。さらに調理体験等を行う場合は必要な研修となる。

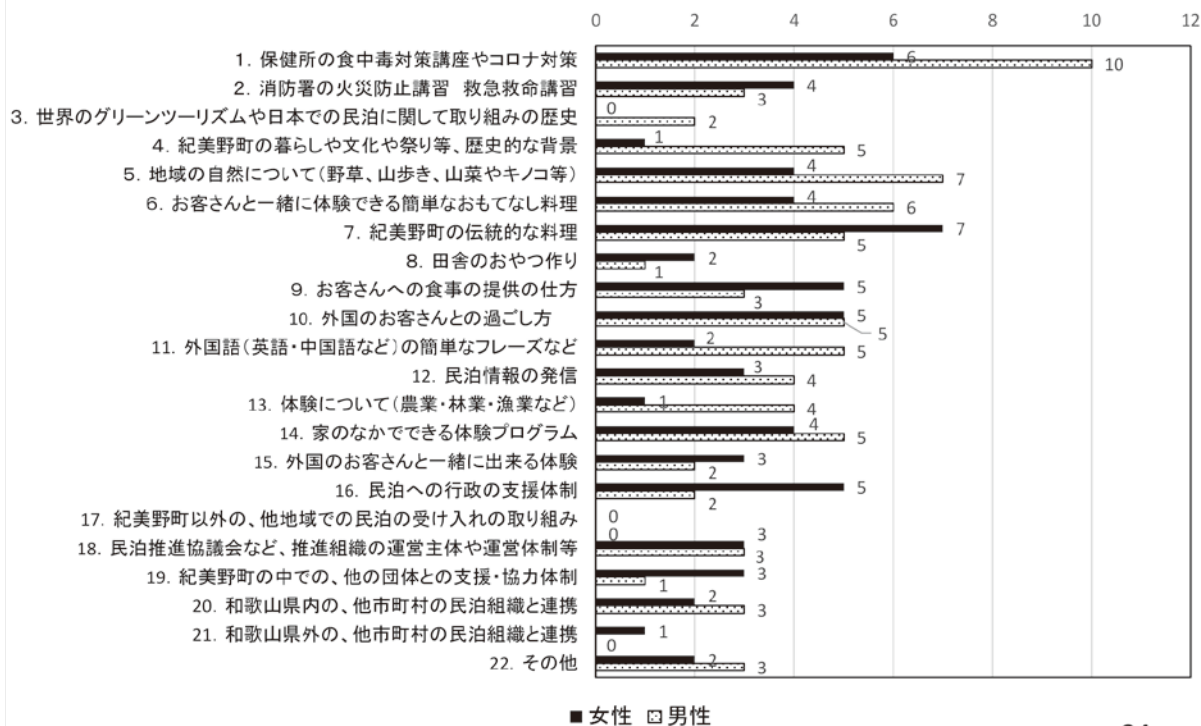
多くの農家女性が希望する民泊研修プログラムとして「紀美野町の伝統的な料理」があげられた。

季節ごとの地域食材を使用した料理や、行事等に関連したその地ならではの伝統的な調理法等を高齢者から学ぶ機会も必要といえる。その他、「お客さんへの食事の提供の仕方」、「外国のお客さんとの過ごし方」等の宿泊客との接し方について学ぶ研修プログラムを希望する家庭や、「民泊への行政の支援体制」について学ぶ研修を希望する家庭があげられた。

一方、男性が希望する民泊研修プログラムとしては、「地域の自然について（野草、山歩き、山菜やキノコ等）」、「紀美野町の暮らしや文化や祭り等、歴史的な背景について」等があげられた。民泊に来たお客さんを地域に案内する際に、また自然散策などを行う時に蓄えておきたい紀美野町に関する研修となる。また「外国のお客さんとの過ごし方」「外国語の簡単なフレーズ」等、お客さんと交流し、一緒に体験できるおもてなし料理や、雨天時に家屋でできる体験プログラムの研修に、民泊受け入れ家庭の男性の関心が高く寄せられていることが明らかになった。

(3) その他、ヒアリング調査から得た自由意見

さらに「その他の意見」として民泊家庭でのヒアリング調査から得た回答としては、次のような意見があげられた。



n=34
複数回答

【図2】 希望する民泊研修プログラムについて (男女別)

資料：アンケート調査を基に植田作成

- 地震などの災害時・緊急時の対応の仕方、避難時等の体験研修
- 食育研修
- 梅酒や漬け物など、品種や漬け方、漬ける年数などによる味の違いを学ぶ等の研修
- 他地域の民泊を体験しながら、住民と意見交換をする研修、等である。

紀美野民泊協議会の受け入れ家庭には、他地域からの移住者等も多くみられる。コロナ禍収束後には、これまでの地域の中のネットワークや既存の組織にも協力を仰ぎ、地域に詳しい人材を発掘しながら学ぶこと、また地域外の新しい視点を取り入れた民泊推進の在り方や研修システムの構築が必要とされている。

そのようなシステムにおいてプログラムを組み立てる中で、地域や人を知り、地域間や団体の横のつながり、世代間の縦の繋がりが築かれていくのであろう。また、それらの地域の連携を「可視化」していくことが地域における研修システムのもう一つの意義となる。その積み重ねが民泊協議会の厚みとなり、他の地域と差別化を図ることができる「紀美野町の民泊の魅力」となり得るのではないだろうか。

プロジェクトの成果

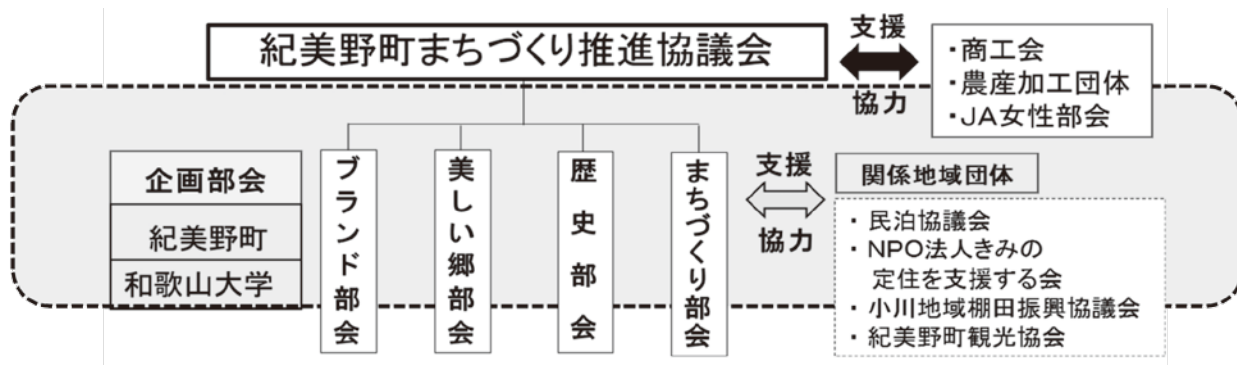
最後に今年度のプロジェクトの成果として以下の2点を整理しまとめとめたい。

まず、1点目は民泊協議会に属する受け入れ家庭の世帯員より、研修プログラムへの参加の意欲を組み合わせることができたことである。事業開始のためには資金調達や講師依頼、プログラム作り、参加者呼びかけ等、業務が多岐に渡り、即座に取り組むには課題も多くみられるが、コロナ禍収束以降、あるいはオンライン開催等で、出来る範囲から進めていくことが必要である。

次に2点目は、このような研修会等の事務を担う窓口や事務局の必要性が明確になったことである(図3)。行政の窓口だけではなく、紀美野町のまちづくりの企画、観光客の対応、さらに移住定住のニーズ等に広く対応できる横断的な事務局の確立が必要であることが明らかになった。このことにより、近隣の市町村とも連携を図りながら教育旅行等の大きな団体の受け入れを行うことが可能となる。

そのためには、関係者が集い、想いを共有しながら、紀美野町のまちづくりが目指すべく大きなビジョン(方向性)を築き上げる必要がある。

2021年度は、関係機関への提案を行い、地域の6次産業化や社会実装モデルとして、具体的に地域でのプ



【図3】 ビジョンとして掲げる紀美野町まちづくり推進協議会組織図

資料：聞き取り調査を基に梅田作成

プロジェクトを進め、一つひとつ紀美野町でのまちづくりの実績を増やしていければと考えている。

さらに近隣の市町村との連携の可能性についても検討を重ねていきたい。

[注1]

農林水産省：

女性の農業における活躍推進に向けた検討会

https://www.maff.go.jp/j/study/women_empowerment/index.html



紀美野町の農家民泊

